

事務連絡
平成29年11月27日

法科大学院を置く
各国私立大学事務局 御中

文部科学省高等教育局
専門教育課専門職大学院室

「法科大学院修了者の進路に関する状況調査」及び「法科大学院における『飛び入学』及び『早期卒業』による入学者の平成29年司法試験合格状況調査」について（依頼）

平素より、法科大学院教育の振興に特段の御協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度も、文部科学省として、「法科大学院修了者の進路に関する状況」及び「法科大学院における『飛び入学』及び『早期卒業』による入学者の司法試験合格状況」について調査を行うこととしました。

つきましては、御多用中のところ誠に恐縮ですが、別紙様式の調査票を作成の上、下記期限までに当室まで電子メールにて御返信くださるようお願いいたします。

特に、法科大学院修了者の進路に関する状況については、過去の調査において進路不明となっている者が多数存在しているところですが、文部科学省としては法科大学院修了者の進路を把握することは極めて重要と考えており、国会の質疑においても修了者の進路の把握に努めるよう御指摘がありました。ついては、教員や同窓会等が把握している者も含め、可能な限り進路状況の把握に努めていただきますよう、お願いいたします。

本調査の結果につきましては、全回答をとりまとめた上で公表する予定ですが、必要に応じて個別の大学の状況についても会議資料等として配布する場合があるほか、情報公開請求への対応のため各大学の個票を提供する場合がありますので、御承知おきください。

記

1. 提出期限
①法科大学院修了者の進路に関する状況調査
平成29年12月22日（金）【厳守】
②法科大学院における「飛び入学」及び「早期卒業」による入学者の平成29年司法試験合格状況調査
平成29年12月6日（水）【厳守】
2. 提出先
E-mail : sen-ps@mext. go. jp
(提出の際のメールの件名はそれぞれ「【大学名】調査回答（修了生進路）」、「【大学名】調査回答（飛び入学・早期卒業）」としてください。)

【問い合わせ先】

文部科学省高等教育局専門教育課
専門職大学院室法科大学院係
三矢、藤田、原田
TEL 03-6734-3349（直通）
FAX 03-6734-3389
E-mail sen-ps@mext. go. jp

調 査 要 領

I 調査事項

法科大学院修了者の進路に関する状況調査

II 留意点

- 調査票の様式に変更を加えないでください。また、指定されたセルに回答を作成できない事情がある場合は、別のファイルに回答を作成してください。（指定されたセルの欄外に回答等を記入しないでください。）
- 「文部科学省作業用」のワークシートには何も入力しないでください。
- 調査基準日は、平成29年10月末日時点としてください。
- 本調査で御回答いただく数値等については会議資料等として公表する場合があるため、数値等の誤りがないかを御確認の上、提出してください。

III 調査内容（別紙様式）

法科大学院修了者の進路に関する状況調査

- 直近では、昨年実施の平成28年11月7日付け事務連絡「法科大学院修了者の進路に関する状況調査」及び「法科大学院における『飛び入学』及び『早期卒業』による入学者の修了年度別司法試験合格状況調査」について（依頼）」における「法科大学院修了者の進路に関する状況調査」項目と同様です。
過去5年間にかかる法科大学院修了者（平成24年度～平成28年度法科大学院修了者）の進路について、平成29年10月末日時点の状況を記入してください。

- ただし、平成29年11月からの司法修習に参加予定の者は例外とします。
（該当者は、区分「A. 司法試験合格」のうち「司法修習中」の欄に計上ください。）
- 直近から5年前までの修了者を対象としております。数年前の修了者について状況を把握する困難さは重々拝察しますが、過去の調査において進路不明となっている者が多数存在しているところです。文部科学省としては法科大学院修了者の進路を把握することは極めて重要と考えており、また、国会においても修了者の進路の把握に努めるよう御指摘があったところですので、教員や同窓会等が把握している者も含め、可能な限り進路状況の把握に努めていただき、前回調査において頂いた回答を更新する形でご記載願います。

【A～Gの区分について】

- 就職しながら博士課程に進学するなど、複数の区分に属する修了者が重複して計上されないように、最もふさわしいと考えられる欄のみにご記入ください。（従って、合計欄は各年度における修了者数と一致します。）
- ただし、司法試験合格者については必ず「A. 司法試験合格者」の欄に計上ください。
- 法科大学院入学前に従事していた職種に再度従事することになった修了者（司法試験合格者を除く）は、「C. 前職と同じ又は継続」に計上ください。

【Aの内訳について】

- 「その他弁護士」等の欄は、以下の方々を想定し作成されています。
その他弁護士…病院や学校法人等に勤務する弁護士
弁護士で起業…弁護士事務所を開業した者（いわゆる「即独」（即独立した弁護士）も含む）
その他…弁護士未登録者、司法修習未了者
- 「A.司法試験合格」の「その他」の欄の該当者のうち、就職、前職と同じ又は継続、進学された方については、可能な限りB～Dにおける分類と同程度まで記載してください。
例. ○×省に勤務(B.2)、△■系企業の研究職(C.5)、博士後期課程へ進学(D.1)

その他、ご不明な点は文部科学省専門教育課専門職大学院室までお問い合わせください。

クリーム色セルに御記入ください。

グレー色セルは記入や変更を行わないでください。

大学名

法科大学院修了者の進路について（別紙様式）

法科大学院修了者の進路について、各修了年度の未修者、既修者別に人数を御回答ください。
なお、「A. 司法試験合格」のうち「その他」、「F. その他」に分類されたものについては具体的に記述してください。

平成24年度修了者

H29年10月末現在

① 未修者

区分	人数	左記の内訳										その他(※)	具体的に記述	
A. 司法試験合格	0	1. 裁判官 任官	2. 検事任用	3. 弁護士 事務所 採用	4. 弁護士で 営利企業	5. 弁護士で 公務員	6. その他 弁護士	7. 弁護士で 起業	8. 司法 修習中	9. 不明		→		
B. 就職	0	左記の内訳												
		1. 司法書士	2. 公務員	3. 企業 (法務 部門)	4. その他 隣接職種	5. その他の 職種	6. 不明							
C. 前職と同じ又は継続	0	左記の内訳												
		1. 司法書士	2. 公務員	3. 企業 (法務 部門)	4. その他 隣接職種	5. その他の 職種	6. 不明							
D. 進学	0	左記の内訳												
		1. 博士後期 課程	2. 他の 専門職 大学院	3. 留学	4. その他の 学校	5. 不明								
E. 司法試験 受験勉強中														
F. その他		→	具体的に記述											
G. 不明														
合計(※)	0	※ 合計が、「法科大学院修了認定状況調査」における過去の回答と一致しているかご確認ください。												

※ 「A. 司法試験合格」の「その他」の欄の該当者のうち、就職、前職と同じ又は継続、進学された方については、可能な限りB～Dにおける分類と同程度まで記載してください。

記載例. ○×省に勤務 (B. 2)
△系企業の研究職(C. 5)
博士後期課程へ進学(D. 1)

② 既修者

区分	人数	左記の内訳										その他(※)	具体的に記述	
A. 司法試験合格	0	1. 裁判官 任官	2. 検事任用	3. 弁護士 事務所 採用	4. 弁護士で 営利企業	5. 弁護士で 公務員	6. その他 弁護士	7. 弁護士で 起業	8. 司法 修習中	9. 不明		→		
B. 就職	0	左記の内訳												
		1. 司法書士	2. 公務員	3. 企業 (法務 部門)	4. その他 隣接職種	5. その他の 職種	6. 不明							
C. 前職と同じ又は継続	0	左記の内訳												
		1. 司法書士	2. 公務員	3. 企業 (法務 部門)	4. その他 隣接職種	5. その他の 職種	6. 不明							
D. 進学	0	左記の内訳												
		1. 博士後期 課程	2. 他の 専門職 大学院	3. 留学	4. その他の 学校	5. 不明								
E. 司法試験 受験勉強中														
F. その他		→	具体的に記述											
G. 不明														
合計(※)	0	※ 合計が、「法科大学院修了認定状況調査」における過去の回答と一致しているかご確認ください。												

※ 「A. 司法試験合格」の「その他」の欄の該当者のうち、就職、前職と同じ又は継続、進学された方については、可能な限りB～Dにおける分類と同程度まで記載してください。

記載例. ○×省に勤務 (B. 2)
△系企業の研究職(C. 5)
博士後期課程へ進学(D. 1)

① 未修者

区分	人数	左記の内訳											
A. 司法試験合格	0	1. 裁判官 任官	2. 検事任 用	3. 弁護士 事務所 採用	4. 弁護士 で 営利企業	5. 弁護士 で 公務員	6. その他 弁護士	7. 弁護士 で 起業	8. 司法 修習中	9. 不明	その他	→	具体的に記述
B. 就職	0	左記の内訳											
		1. 司法書 士	2. 公務員	3. 企業 (法務 部門)	4. その他 隣接職種	5. その他 の職種	不明						
C. 前職と同じ又は継続	0	左記の内訳											
		1. 司法書 士	2. 公務員	3. 企業 (法務 部門)	4. その他 隣接職種	5. その他 の職種	不明						
D. 進学	0	左記の内訳											
		1. 博士後 期課程	2. 他の 専門職 大学院	3. 留学	4. その他 の学校	不明							
E. 司法試験 受験勉強中													
F. その他		→	具体的に記述										
G. 不明													
合計(※)	0	※ 合計が、「法科大学院修了認定状況調査」における過去の回答と一致しているかご確認ください。											

※ 「A. 司法試験合格」の「その他」の欄の該当者のうち、就職、前職と同じ又は継続、進学された方については、可能な限りB～Dにおける分類と同程度まで記載してください。

記載例。○×省に勤務 (B.2)
△系企業の研究職(C.5)
博士後期課程へ進学(D.1)

② 既修者

区分	人数	左記の内訳											
A. 司法試験合格	0	裁判官 任官	検事任 用	弁護士 事務所 採用	弁護士で 営利企業	弁護士で 公務員	その他 弁護士	弁護士で 起業	司法 修習中	不明	その他	→	具体的に記述
B. 就職	0	左記の内訳											
		司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明						
C. 前職と同じ又は継続	0	左記の内訳											
		司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明						
D. 進学	0	左記の内訳											
		博士後 期課程	他の 専門職 大学院	留学	その他 の学校	不明							
E. 司法試験 受験勉強中													
F. その他		→	具体的に記述										
G. 不明													
合計(※)	0	※ 合計が、「法科大学院修了認定状況調査」における過去の回答と一致しているかご確認ください。											

※ 「A. 司法試験合格」の「その他」の欄の該当者のうち、就職、前職と同じ又は継続、進学された方については、可能な限りB～Dにおける分類と同程度まで記載してください。

記載例。○×省に勤務 (B.2)
△系企業の研究職(C.5)
博士後期課程へ進学(D.1)

① 未修者

区 分	人数	左記の内訳											
A. 司法試験合格	0	裁判官 任官	検事任用	弁護士 事務所 採用	弁護士で 営利企業	弁護士で 公務員	その他 弁護士	弁護士で 起業	司法 修習中	不明	その他	→	具体的に記述
B. 就職	0	左記の内訳											
		司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明						
C. 前職と同じ又は継続	0	左記の内訳											
		司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明						
D. 進学	0	左記の内訳											
		博士後期 課程	他の 専門職 大学院	留学	その他の 学校	不明							
E. 司法試験 受験勉強中													
F. その他		→	具体的に記述										
G. 不明													
合 計(※)	0	※ 合計が、「法科大学院修了認定状況調査」における過去の回答と一致しているかご確認ください。											

※ 「A. 司法試験合格」の「その他」の欄の該当者のうち、就職、前職と同じ又は継続、進学された方については、可能な限りB～Dにおける分類と同程度まで記載してください。

記載例. ○×省に勤務 (B. 2)
 △系企業の研究職(C. 5)
 博士後期課程へ進学(D. 1)

② 既修者

区 分	人数	左記の内訳											
A. 司法試験合格	0	裁判官 任官	検事任用	弁護士 事務所 採用	弁護士で 営利企業	弁護士で 公務員	その他 弁護士	弁護士で 起業	司法 修習中	不明	その他	→	具体的に記述
B. 就職	0	左記の内訳											
		司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明						
C. 前職と同じ又は継続	0	左記の内訳											
		司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明						
D. 進学	0	左記の内訳											
		博士後期 課程	他の 専門職 大学院	留学	その他の 学校	不明							
E. 司法試験 受験勉強中													
F. その他		→	具体的に記述										
G. 不明													
合 計(※)	0	※ 合計が、「法科大学院修了認定状況調査」における過去の回答と一致しているかご確認ください。											

※ 「A. 司法試験合格」の「その他」の欄の該当者のうち、就職、前職と同じ又は継続、進学された方については、可能な限りB～Dにおける分類と同程度まで記載してください。

記載例. ○×省に勤務 (B. 2)
 △系企業の研究職(C. 5)
 博士後期課程へ進学(D. 1)

① 未修者

区 分	人数	左記の内訳											
A. 司法試験合格	0	裁判官 任官	検事任用	弁護士 事務所 採用	弁護士で 営利企業	弁護士で 公務員	その他 弁護士	弁護士で 起業	司法 修習中	不明	その他	→	具体的に記述
B. 就職	0	左記の内訳											
		司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明						
C. 前職と同じ又は継続	0	左記の内訳											
		司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明						
D. 進学	0	左記の内訳											
		博士後期 課程	他の 専門職 大学院	留学	その他の 学校	不明							
E. 司法試験受験勉強中													
F. その他		→	具体的に記述										
G. 不明													
合計(※)	0	※ 合計が、「法科大学院修了認定状況調査」における過去の回答と一致しているかご確認ください。											

※ 「A. 司法試験合格」の「その他」の欄の該当者のうち、就職、前職と同じ又は継続、進学された方については、可能な限りB～Dにおける分類と同程度まで記載してください。

記載例. ○×省に勤務 (B.2)
 △系企業の研究職(C.5)
 博士後期課程へ進学(D.1)

② 既修者

区 分	人数	左記の内訳											
A. 司法試験合格	0	裁判官 任官	検事任用	弁護士 事務所 採用	弁護士で 営利企業	弁護士で 公務員	その他 弁護士	弁護士で 起業	司法 修習中	不明	その他	→	具体的に記述
B. 就職	0	左記の内訳											
		司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明						
C. 前職と同じ又は継続	0	左記の内訳											
		司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明						
D. 進学	0	左記の内訳											
		博士後期 課程	他の 専門職 大学院	留学	その他の 学校	不明							
E. 司法試験受験勉強中													
F. その他		→	具体的に記述										
G. 不明													
合計(※)	0	※ 合計が、「法科大学院修了認定状況調査」における過去の回答と一致しているかご確認ください。											

※ 「A. 司法試験合格」の「その他」の欄の該当者のうち、就職、前職と同じ又は継続、進学された方については、可能な限りB～Dにおける分類と同程度まで記載してください。

記載例. ○×省に勤務 (B.2)
 △系企業の研究職(C.5)
 博士後期課程へ進学(D.1)

① 未修者

区分	人数	左記の内訳					
A. 司法試験合格							
B. 就職	0	司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明
C. 前職と同じ又は継続	0	司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明
D. 進学	0	博士後期 課程	他の 専門職 大学院	留学	その他の 学校	不明	
E. 司法試験 受験勉強中							
F. その他		→	具体的に 記述				
G. 不明							
合計(※)	0	※ 合計が、「法科大学院修了認定状況調査」における今回の回答と一致しているかご確認ください。					

② 既修者

区分	人数	左記の内訳					
A. 司法試験合格							
B. 就職	0	司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明
C. 前職と同じ又は継続	0	司法書士	公務員	企業 (法務 部門)	その他 隣接職種	その他の 職種	不明
D. 進学	0	博士後期 課程	他の 専門職 大学院	留学	その他の 学校	不明	
E. 司法試験 受験勉強中							
F. その他		→	具体的に 記述				
G. 不明							
合計(※)	0	※ 合計が、「法科大学院修了認定状況調査」における今回の回答と一致しているかご確認ください。					